



広報

なほ市民の友

第619号 毎月1回発行
2002年(平成14年)

8 月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎ 867-0111 ●印刷(協)丸正印刷

市の人口と世帯	
* ()内はうち外国人	
2002(平成14)年6月末現在	
総人口	306,462(1,758)
男	148,239(914)
女	158,223(844)
世帯数	118,924(999)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	85,780
真和志	106,065
首 里	58,456
小 禄	54,403



悠久の時を語る王朝の歴史

主な紙面

- (2面) 市民課がISOを取得
- (3面) グリーン指導員が総行動
- (4面・5面) もっともこと那覇の歴史を知りたい
- (6面) 住基ネットが始まります
- (7面) 情報PACK

日々の喧噪(けんそう)をのがれて、「玉陵」奉円館をぜひ一度訪ねてみてはいかがでしょうか。

石に囲まれた静寂にふれた時、「玉陵」が、様々な偉業を成し遂げた尚真の支えとなつたのではないかと、ふと思いました。

玉陵を造つた尚真王は、第二尚氏の基礎を固め、国の中央集権体制を確立させました。首里城を整備して、飲会門や瑞泉門を築き、正殿の前に龍柱を建て、城外には円覚寺も建立しました。琉球王国の歴代国王の中でも著名な国王でした。

館内には、玉陵の内部がわかる模型や歴代国王の遺骨が納められている石厨子、最後の王世子・尚典侯の葬列のめづらしい写真パネルなどが展示されています。

その概要をわかりやすく説明したガイド施設「玉陵奉円館」が、7月1日にオープンしました。

目には見えますが、その中の様子について知る機会はありません。

その外観については、よく目には見えますが、その中の様子について知る機会はありません。

第二尚氏王統の墓陵「玉陵」は、第三代国王の尚真によつて、父・尚円(金丸)王の遺骨を、現在の玉陵裏手に密葬されていた場所から移葬するために築いたといわれています。

「玉陵奉円館」オープン!!

世界遺産・玉陵のガイド施設



モノレールが「首里城下駅」まで伸びるともっと観光客が増えるでしょうね。夏場は歩くのがきびしいですから。

私の沖縄赴任は、二回目になります。一回目が昭和六十一年六月からの四年間、今回が平成十年四月から通算九年目に入ります。その間、那覇暮らしにもすっかり慣れ、快適に「住めば都」を実感しております。泡盛は旨いし、模合もいくつか、すっかり「デーゲー文化」に染まり、ウチナンチュー化しつつある今日この頃です。昨年の米国同時多発テロは、沖縄観光の現状と将来に対して、いろいろと考えさせられる出来事でした。沖縄は米軍基地があるから危ないという風評から、一時的に沖縄観光は危機的な状況に陥りましたが、「だいじょうぶさー沖縄」をキャッチフレーズに、官・民あげた誘致運動を展開した結果、意外に早く回復できたことは不幸中の幸いでした。

なかでも忘れてならないことは、那覇市内を中心にした「県民県内一泊運動」などによる県民による観光支援運動の盛り上がりでした。観光は文化であり、観光の発展

が、基地のない平和で豊かな沖縄を実現することに繋がります。那覇には、世界遺産をはじめとした多くの魅力ある観光資源があります。来年のモノレール開通にあわせて、ますます観光客が那覇市を訪れる機会が増えることと思います。モノレールに乗ることで那覇市内の眺望を楽しむことができます。モノレールに乗ることで、それだけでも有力な観光資源になります。

もうひとつ欲を言えばモノレール「首里城下駅」があると、もっと多くの観光客が短時間で快適に首里城観光に訪れることができると思います。

私も、ジェイティービーの経営理念に「二十一世紀のツーリズム発展の一翼を担い内外に亘る人々の交流を通じて平和で豊かな社会の実現に貢献する」とあります。第四次沖縄振興計画では、観光が県経済のリーディング産業に位置づけられています。

豊かで自然と共生できる観光立県をみんなで目指したいものです。

支店の点⑥

にしやまくなお
西山邦直

(ジェイティービー沖縄株式会社代表取締役社長)

1945年(昭和20年)生まれ、埼玉県川口市出身。ジェイティービー入社後、都内数支店勤務を経て、1986年沖縄支店勤務。88年ジェイティービー沖縄(株)設立に携わる。沖縄地区における旅行をドメインとしたサービスの提供。

市民課(本庁)がISO9001の認証を取得しました。(2面)